



## 九州大学「世界に羽ばたく高校生の成果発表会」

10月19日(土)、九州大学が行っている「世界に羽ばたく高校生の成果発表会」に参加しました。本発表会は、人文社会系、理工系、生物系、複合系の4分野の括りでポスターセッションを行う大会で、文系生徒が発表する貴重な機会ともなっています。九州・山口地区のSSH校・SGH校・SPH校や、九州大学未来創生科学者育成プロジェクト(QFC-SP)校を中心に毎年多くの参加がありますが、昨年度の発表本数66本に対し、今年度は126本とほぼ倍増し、高校生の探究活動が浸透しつつあることを窺わせます。本校は、昨年度の4班に対し、本年度は理数科6班と自主ゼミ7班の計13の研究班が参加しました。



### 参加した自主ゼミ班の研究テーマ

- 1 Kirishima City Is ... ~suggestion to increase tourism Kirishima City~
- 2 茶節を用いた霧島つつみ ~霧島を盛り上げるための広報戦略~
- 3 女性の社会進出
- 4 国分寺跡における雑草の出身地
- 5 セミの抜け殻は語る~国分高校におけるセミ類の発消長~
- 6 国分平野はほぼ占領?~シジミ類における外来種の勢力~
- 7 霧島の水~硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の分布と茶畑の関係~



このように、自主ゼミ班のほとんどが身近なテーマで研究を行っています。自主ゼミの活動自体が生徒たちの主体的な取組ですが、地元の探究資源を題材とした探究活動は、本校が目指す「霧島から世界へ」の理念に合致しています。国分高校での探究活動を基盤に、将来、たくさんの「世界に羽ばたく」人材が出てくれることを期待しています。



九州大学にて



発表会の様子



セミの抜け殻班

他校のレベルの高い研究や、英語でのプレゼンする様子に大いに刺激を受けた様子で、探究のさらなる深化を誓っていました。また、九州大学の広大な敷地や充実した施設にもあこがれを持ったようで、進路目標の多角化という点でも、本校生にとって大変意義深い発表会でした。

